

豊かなみどり あふれる笑顔 みんなで明日をつくるまち所沢

第29号

所沢市マスコット



トコろん

環 境 会 報

所沢市環境推進員連絡協議会

発行責任者 会長 毛利 吉成

— 人と人が支え合い、力を出し合い — “もったいない”の言葉を形に

所沢市環境推進員連絡協議会 会長 毛利 吉成

環境推進員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

春・秋の「環境美化の日」一斉美化清掃活動をはじめ、所沢市が目指す環境保全に向けての事業展開に関心と理解を深める地域活動を環境リーダーとしてご活躍をいただいております。心から敬意を表する次第でございます。

6年前の東日本大震災で強く心に刻まれた経験は、「人と人が支え合い、力を出し、人と自然が共にある生活環境を」とエネルギー、みどり、資源循環を考え、未来の子どもにつないでいく価値観に基づいた「マチごとエコタウン所沢構想」が新たに構築、実施されています。

昨夏は、ひときわ熱い夏でした。“みどりのカーテン”で凌ぎました。冷たく寒い冬でもありま

した。暖房は、経済温度を設定するなど工夫したライフスタイルにしました。食品ロスゼロを目指しました。不要な生活物資の再利用や、資源化“都市鉱山”についても気がつきました。ゴミは持ち帰りポイ捨てはダメ、過剰包装は、やめました。……

自然と人との関わりの中で共に自然と寄り添った“もったいない”の言葉をそれぞれが形にしていく努力をした年でもありました。「絆」づくりは、推進員皆様の環境活動をとおした場からも紡がれていくのではないのでしょうか。益々のご理解とご協力をお願いする次第です。



小手指地区視察研修会 埼玉県環境整備センターを見学

小手指地区環境推進員協議会 片居木 栄



10月18日(火)に32人の参加で、埼玉県環境整備センター(寄居町)の視察研修をしました。

環境整備センター事務室で建設経緯や概況などの説明を受けました。当初は、建設に対し反対運動もあったとのこと。現在は、週1回の住民による抜き打ち調査が行われています。その後、敷地内にある2工場の見学を行いました。オリックス資源循環(株)は、全国で、7施設しかない熱分解ガス化改質方式による廃棄物の完全再資源化を行っています。高温反応炉(約2,000℃)で加熱分解し、再資源化を図るなどゼロエミッションに貢献しています。

(株)ウム・ヴェルト・ジャパンは、蛍光灯リサイクルのみを行っている会社ですが、まだ、全国的には約7割が埋め立て処理になっているほか、ここ1、2年はLED化により搬入量が減少しているとのこと。

現在、処理工程上で発生する水銀のゼロミッションを目指して取り組んでいるが、将来的にはLEDの処理についても、検討しているとのこと。埋立地が満杯になる寿命が残り10年程度だったものが、リサイクルなどの資源化が進んだおかげで30年程度に延びたという説明もありました。参加者は、それぞれの工場内を真剣に見学し積極的に質問もし、改めてごみ処理の重要性を再認識したようです。

若狭四丁目自治会の清掃活動 狭山ヶ丘中学校の先生と生徒も

若狭四丁目環境推進部 関根 正志



三ヶ島地区若狭四丁目町会では、地区内の「若狭いこいの森公園」を、小さな子供たちがいつでも安心して

遊べるようにと、毎週土曜日の朝に清掃活動を行っています。
12月には、公園内の落葉が大量に出ますので、地元狭山ヶ丘中学校の先生と生徒さんが、平成17

年より毎年ボランティアとして参加しています。清掃中は町会員と会話をしながら親睦をはかり終わりの頃には心も公園もすっかりきれいになっています。今年は、2日間で70人以上の先生と生徒さんが参加してくれましたおかげで、いつも以上にきれいな公園になりとても感謝しています。

年より毎年ボランティアとして参加しています。清掃中は町会員と会話をしながら親睦をはかり終わりの頃には心も公園もすっかりきれいになっています。今年は、2日間で70人以上の先生と生徒さんが参加してくれましたおかげで、いつも以上にきれいな公園になりとても感謝しています。

年より毎年ボランティアとして参加しています。清掃中は町会員と会話をしながら親睦をはかり終わりの頃には心も公園もすっかりきれいになっています。今年は、2日間で70人以上の先生と生徒さんが参加してくれましたおかげで、いつも以上にきれいな公園になりとても感謝しています。



環境講演会「豊かな生活 ～環境とエネルギー～」

講師 萩尾 みどり

新所沢東地区 魚島 克巳

環境講演会が、今年も1月31日、ミューズ中ホールにて開催されました。スタッフの皆さんは全員10時30分までに集合、事前準備を整え正午前にはスタンバイ完了です。今回も受付開始前でしたが、寒風吹き付ける中、開場待ちをされている方々へお声がけをし、ホール内に入ってくださいました。本番前、12時45分より市のマチエコ大使 水萌みずさんの紹介とマチエコPR動画が放映されました。



午後1時よりいよいよ本番です。司会者より名前が告げられるとピンク色のジャケットを着た女優の萩尾みどりさんが登場しました。軽妙な語り口で、自身の生い立ち、大学生時代のミスコンを切っ掛けに女優になったこと、芸能関係の裏話等が続きます。本日の講演テーマ「環境とエネルギー」はどうなっているのと不安に駆られたその時、いきなり「コップスリー」が飛び出してきました。気候変動枠組条約第3回締結国会議、通称「地球温暖化防止京都会議」のことです。ハードな話題へ急旋回しましたので、頭のピントが合わず、少し戸惑いました。大画面に『主要国の発電電力量の推移』や「主要国の一人当たりの電力消費量」、「エネルギーの使われ方」、

「部門別CO2排出量」、「家庭部門用途別エネルギー消費量」を映し出し、解説をして頂きました。増え続ける温室効果ガスによる悪影響の事例も、蚊によるデング熱やマラリアの発生、南極の氷床の減少や富士山の永久凍土消滅、インドでの爆発的な狂犬病発生原因等々たくさん取り上げ、そして、省エネルギーや環境負荷への軽減を訴えていました。終わり間際に、地球誕生から現在までの46億年の歴史を1年365日で表した「地球カレンダー」を取り上げていました。地球誕生が1月1日午前0時とすると、人類誕生は12月31日午後11時37分、温暖化ガスが急激に上昇した20世紀の始まりは12月31日午後11時59分59秒になるという。このあとの1秒の間に地球環境はどうなるのでしょうかね。未来を予測した「その後の地球カレンダー」もありましたので除いてみました。1月1日午前0時0分30～40秒ごろ、環境破壊と氷河期の到来により人類滅亡。 エッ！ うっそー！？



“とことん減量”を合言葉に楽しく活動

山口地区 新居 亨一



山口地区環境推進員協議会は、81名（平成28年度）の環境推進員で構成されます。“とことん減量”を合言葉に、真紅のスタジャンを着て3R推進を目的とした啓発・実践活動を行っています。環境推進員は年間を通じて数多くの活動を行っていますが、今回は、最も大きな活動である「もったいない市」と視察研修について紹介します。山口地区の「もったいない市」は、皆で知恵を出し合い、様々な工夫を取り入れています。例えば、来場者が気に入ったものを選びやすいよう、マネキンを置いたり、畳敷きの試着室も用意しています。これらは全て推進員の手作りです。また、再利用される量を調べて見ようという提案があり、搬入出量の計量と分析も行っています。28年度は、『古着・古布・陶磁器拠点回収』が廃止されたので、午前午後合わせて延べ70名前後が活動に参加するようになりました。推進員経験者をはじめ推進員以外のボランティア参加者もいます。手が空いた時には、それぞれの自治会・町内会の様子など、さまざまな話題で盛り上がり、コミュニケーションの場にもなっています。

山口地区環境推進員協議会は、81名（平成28年度）の環境推進員で構成されます。

“とことん減量”を合言葉に、

真紅のスタジャンを着て3R推進を目的とした啓発・実践活動を行っています。

環境推進員は年間を通じて数多くの活動を行っていますが、今回は、最も大きな活動である「もったいない市」と視察研修について紹介します。

山口地区の「もったいない市」は、皆で知恵を出し合い、様々な工夫を取り入れています。

例えば、来場者が気に入ったものを選びやすいよう、マネキンを置いたり、畳敷きの試着室も用意しています。

これらは全て推進員の手作りです。また、再利用される量を調べて見ようという提案があり、搬入出量の計量と分析も行っています。

28年度は、『古着・古布・陶磁器拠点回収』が廃止されたので、午前午後合わせて延べ70名前後が活動に参加するようになりました。

推進員経験者をはじめ推進員以外のボランティア参加者もいます。

手が空いた時には、それぞれの自治会・町内会の様子など、さまざまな話題で盛り上がり、コミュニケーションの場にもなっています。

山口地区では、毎年秋に1泊の視察研修を行っています。企画は、前年12月のエコプロ見学でめぼしい見学先を探すことから始まります。毎年、エネルギー、ごみの行方など、視察のメインテーマを決めています。例えば、エネルギーについては、原子力、風力、太陽光、水力、火力の発電所を巡り、ごみの行方については、最終処分場、中間処理業者、古紙の再生プラント、最終処分灰からレアメタルを回収するプラントなどを見学しました。最近では、食やバイオマスにも目を向けています。山口地区の視察研修はかなり濃密です。行きのバス車中では、視察の目的や視察先の概要の説明を行います。また、帰りには、参加者全員が感想や意見を述べるのが恒例になっています。もちろん、夜は楽しい宴会があり、参加者の親睦を深めています。後日、全推進員に声をかけ、研修報告会も行っています。



巨大なタービンの前で（東北電力東新潟火力発電所）

施設紹介 西部クリーンセンター

西部クリーンセンター管理課



西部クリーンセンター

西部クリーンセンターは、ごみ焼却施設とプラスチック処理施設を備え、主に所沢市の西部地区の清掃業務を担当しています。老朽化してきたごみ焼却施設の延命化を図るとともに二酸化炭素排出量を削減するために、平成26年度から平成28年度までの3か年をかけて基幹的設備改良（長寿命化）工事を実施し、3月中旬に完了の予定です。併せて、屋外での作業が懸案となっておりました

市民の持込みごみ受入れ場所につきましては、利便性と安全性の向上を図るため、旧資源回収施設の跡地に新たな受入施設「市民持込みステーション」を建設し、毎月第1土曜日（1月は第2）の午前8時30分から正午まで家庭ごみの受入れを行い、市民サービスの向上を図っています。さらに、毎年春と秋に「もったいない市」を開催し、



市民持込みステーション

不用品のリサイクルに努めるとともに、東日本大震災義援金を募り、復興の支援を行っています。

収集車両 火災発生！！

西部クリーンセンター収集課



消火作業



かごでの収集

平成28年12月20日(火)北中地区内で「びん・かん・スプレー缶」を収集中に車両火災が発生しました。幸い、収集職員にケガはありませんでしたが、車両火災が発生すると、車両を修繕するため使えなくなってしまう、収集作業に支障が出てしまいます。さらに、修繕には費用も掛かってしまいます。今回の火災は「びん・かん・スプレー缶」の収集中でしたが、「粉碎ごみ類」に出されるライターにガスに引火して、火災が発生したケースも過去にはありました。スプレー缶や卓上コンロ用のガスボンベなど、やむを得ず中身が残っているものをごみとして出す場合は、収集職員が分かり易いように「中身あり」と明記して、別の袋で出して下さい。別の袋で出されたスプレー缶やライターなどは、火災が発生しないように、車両脇にあるかごに入れて収集しています。

所沢市マチエコ大使「水萌 ^{みなも}みず」さん 環境政策課

所沢市マチエコ大使は、マチごとエコタウン所沢構想の趣旨や環境施策を市内外に紹介し、環境配慮行動の普及を図ることを使命とし、平成27年4月に「上田マリノ」さんを委嘱することでスタートしています。今回は、2人目の大使「水萌みず」さんをご紹介します。



水萌 みず

平成28年11月、所沢市マチエコ大使に就任。平成26年に47都道府県天下統一アイドルグループBANZAI JAPANへ加入し、GAKUSEIBU所沢駅イメージモデルや市内イベント(野老澤行灯廊火・所澤神明社七夕祭奉納コンサート)に参加。1月の環境講演会でマチエコ動画を紹介するなど、大使としての活動をスタートさせています。大使の詳細や予定は市HPでご確認をいただけます。(「マチエコ大使」で検索)これからの大使の活躍に、ご期待ください。

編 集 後 記

地区協議会の見学研修会は、問題意識を持ってそれぞれ実施されています。小手指地区は、県環境センター(寄居)を見学研修、「資源化に向けての企業努力やリサイクルなど市民意識の効果で埋め立て地の寿命が延びた」と片居木さん。山口地区は“とことん減量”を合言葉に「ゴミの行方は？」をテーマに一泊研修と新居さん。若狭地区の4丁目自治会環境推進部の定例公園清掃は、狭山ヶ丘中学校の生徒・先生、住民と一緒にみんなできれいに！と。地区環境事業活動は盛んです。

「スプレー缶は、中身あり」と分別、出し方に気をつけてとクリーンセンターから。

29年度版「家庭の資源とごみの分け方・出し方」全戸に配布されました。大変分かりやすく、見やすくなりました。(MO)

編集委員(◎印は委員長)

◎荻野 義雄(三ヶ島)、魚島 克巳(新所沢東)、久下 紀世(新所沢)、新居 亨一(山口)

事務局：所沢市 環境クリーン部 生活環境課

☎04-2998-9370

所沢市のホームページ

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>
トップページ ⇨ くらし ⇨ 環境・みどり
⇨ 環境 ⇨ 環境推進員連絡協議会についてを
選択してアクセスしてください。